

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成 17 年 11 月 4 日 (2005.11.4)

【公開番号】特開 2003-229080 (P2003-229080A)
 【公開日】平成 15 年 8 月 15 日 (2003.8.15)
 【出願番号】特願 2002-23555 (P2002-23555)
 【国際特許分類第 7 版】

H 0 1 J 31/12

H 0 1 J 9/28

H 0 1 J 29/86

H 0 1 J 29/92

【F I】

H 0 1 J 31/12 C

H 0 1 J 9/28 A

H 0 1 J 29/86 Z

H 0 1 J 29/92 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 8 月 11 日 (2005.8.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電子を放出するカソードと、外部から電位が与えられる電極とを備える表示装置であって、

前記電極が配置された第 1 の基板と、

前記第 1 の基板に間隔をあけて対向して設けられた第 2 の基板と、

前記第 2 の基板の外側から該第 2 の基板を通して前記電極に電位を供給するための第 1 の導電性部材と、

前記第 2 の基板に設けられ、前記第 1 の導電性部材が挿入された貫通孔と、

を備え、

前記第 1 の導電性部材は、前記貫通孔内に位置する第 1 の部分と、該第 1 の部分と一体に設けられて前記貫通孔の開口端部に位置する第 2 の部分とを有し、

前記第 2 の部分 は、前記貫通孔を気密に閉塞して、前記第 2 の基板の外面上に接合されている表示装置。

【請求項 2】

前記第 1 の導電性部材と前記電極との間に設けられ、該第 1 の導電性部材と該電極の各々に電気的に接続される導電性易変形部材を備えている、請求項 1 に記載の表示装置。

【請求項 3】

前記第 1 の導電性部材は、熱膨張係数が $2.0 \times 10^{-6} /$ 以上、12.0 $\times 10^{-6} /$ 以下の基材からなる、請求項 1 または 2 に記載の表示装置。

【請求項 4】

前記第 2 の部分には、前記第 2 の基板と接合材を介して接合される接合部に、該接合材との濡れ性を向上させる膜が設けられている、請求項 1 ないし 3 のいずれか 1 項に記載の表示装置。

【請求項 5】

前記接合材は、金属材からなる、請求項 4に記載の表示装置。

【請求項 6】

前記電極には、前記カソードから放出される電子を加速する電位が供給される、請求項 1ないし5のいずれか 1 項に記載の表示装置。

【請求項 7】

内部の圧力が外部の圧力よりも低く、内部に外部からの電位が与えられる電極を備える気密容器であって、

前記電極が形成された第 1 の基板と、

前記第 1 の基板に間隔をあけて対向して設けられた第 2 の基板と、

前記第 2 の基板の外面側から該第 2 の基板を通して前記電極に電位を供給するための導電性部材と、

前記第 2 の基板に設けられ、前記導電性部材が挿入された貫通孔と、

を備え、

前記導電性部材は、前記貫通孔内に位置する第 1 の部分と、該第 1 の部分と一体に設けられて前記貫通孔の開口端部に位置する第 2 の部分とを有し、

前記第 2 の部分は、前記貫通孔を気密に閉塞して、前記第 2 の基板の外面上に接合されている気密容器。